

保証書付

Arromic

品番：WF-N1

Arromic
NANO
BUBBLE



KITCHEN
SHOWER

アラミック ナノバブル
キッチンシャワー水栓
施工・取り扱い説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しく施工・ご使用ください。

Arromic

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める場所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買い上げ（お取り付け）年月日、販売店（工事店）名の記載のない場合は
お買い上げ（お取り付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、
レシート又は領収書を貼付してください。

施工業者様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取り付け年月日をご記入のうえ、
本書と共にお客様へお渡しください。



重要

本製品は寒冷地仕様ではありません

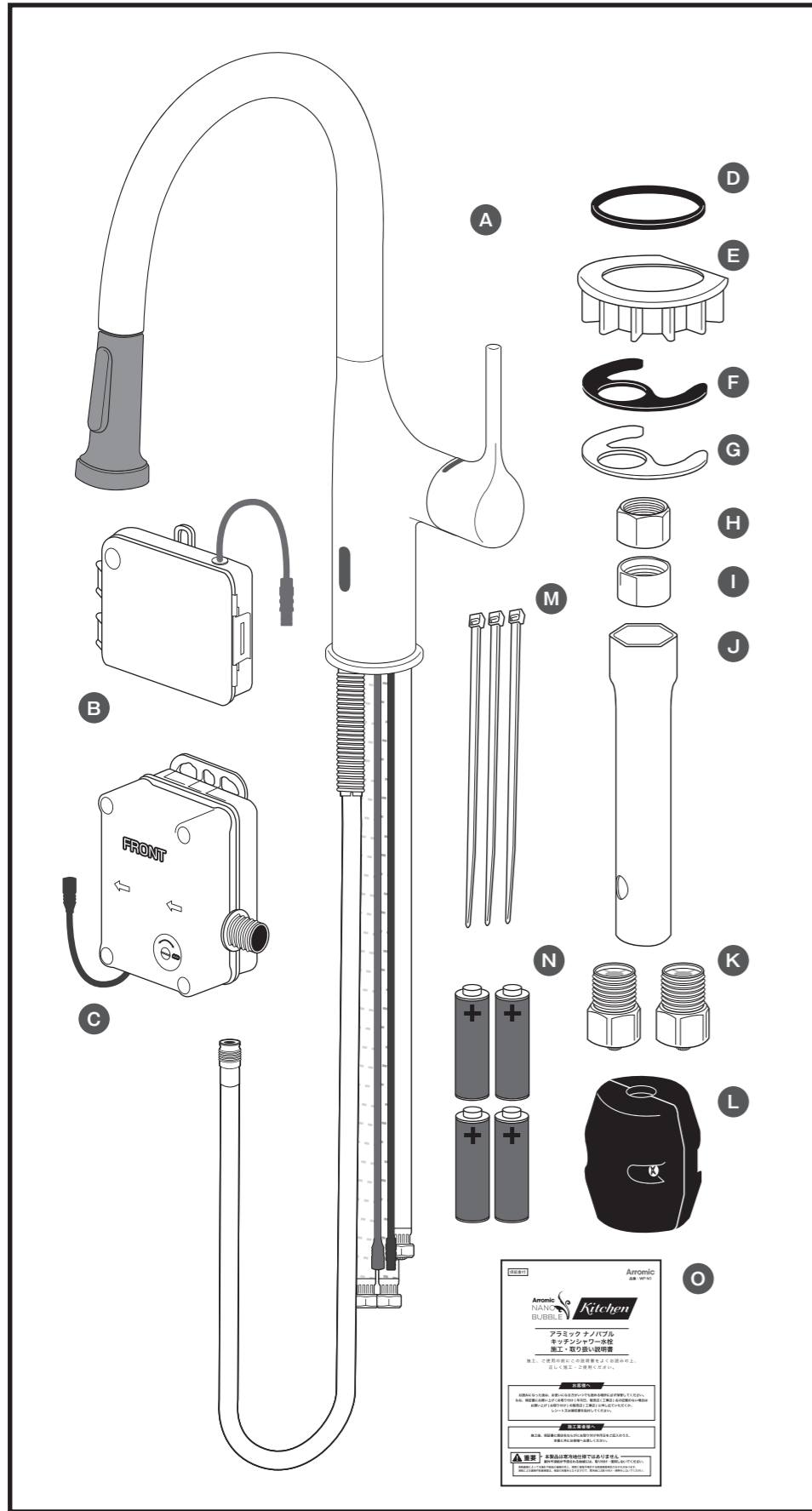
屋外や凍結が予想される地域には、取り付け・使用しないでください。

凍結破損によって水漏れや部品の破損が生じ、家財に被害が発生する財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損や財産損害は、保証の対象外となりますので、寒冷地には取り付け・使用をしないでください。

アラミック ナノバブル キッチンシャワー水栓 製品について

内 容 物	P.3
各 部 の 名 称	P.4
各部の可動領域	P.5
製 品 仕 様	P.6
施 工 条 件	P.6

内容物



部品名称

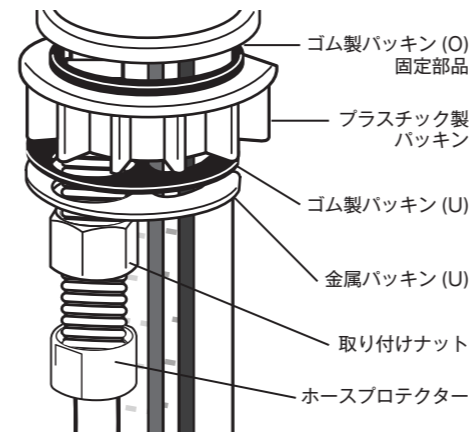
- A: 水栓本体
- B: 電池ボックス
- C: コントロールボックス (電磁弁)
- D: ゴム製パッキン (O)
- E: プラスチック製パッキン
- F: ゴム製パッキン (U)
- G: 金属パッキン (U)
- H: 取り付けナット
- I: ホースプロテクター
- J: 六角取り付け工具
- K: 水栓アダプター ×2
- L: ホースストッパー
- M: 結束バンド ×3
- N: 単三電池 ×4 (動作テスト用)
- O: 取り扱い説明書 (本書)

※製品や部品外観は製品改良のため予告なく変更する場合があります。

各部の名称

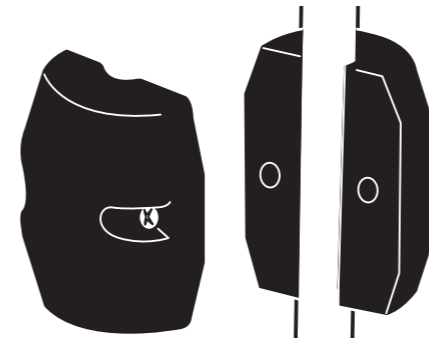
押さえ部品拡大図

必ずこの順番で取り付けを行ってください。



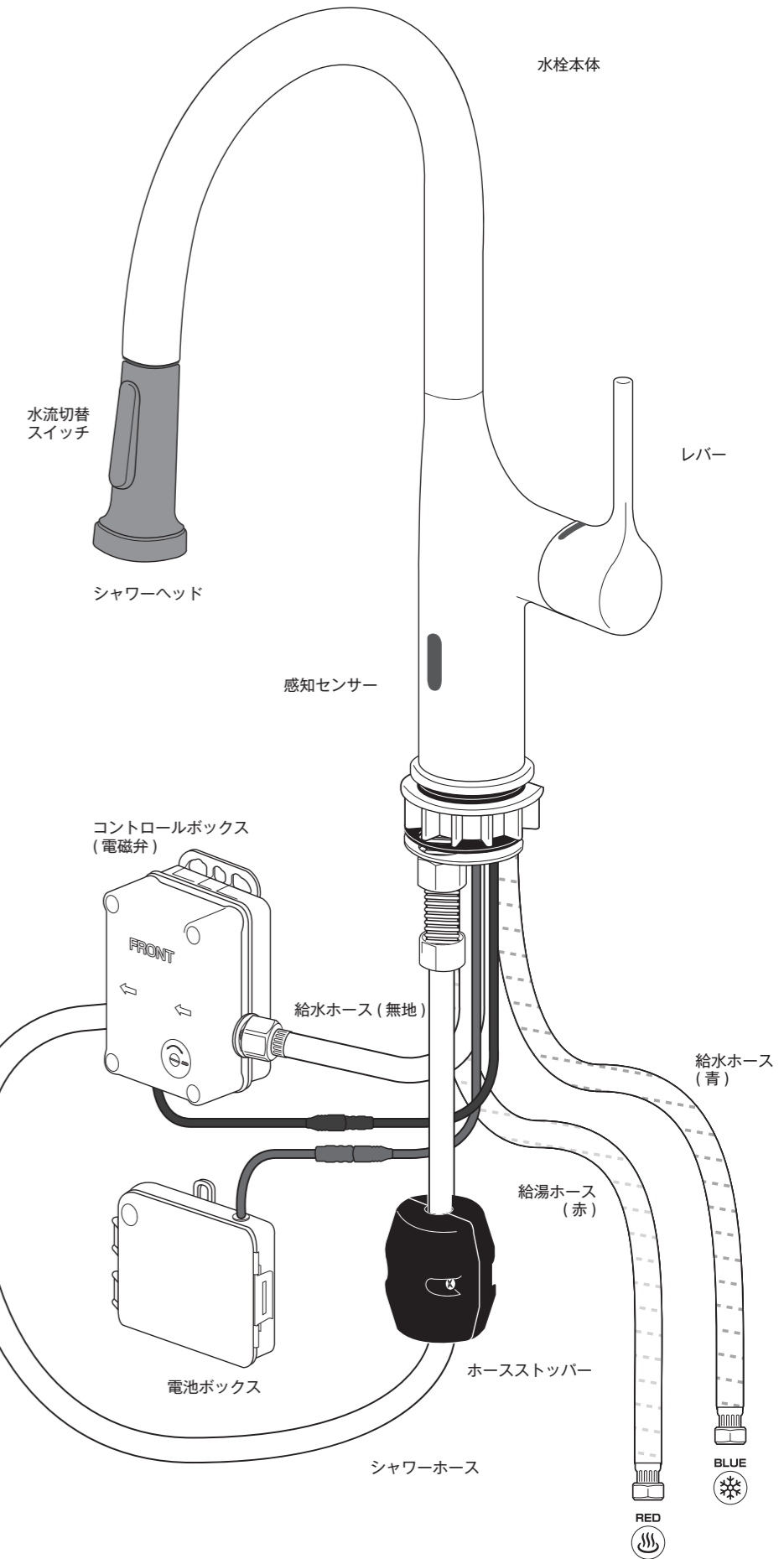
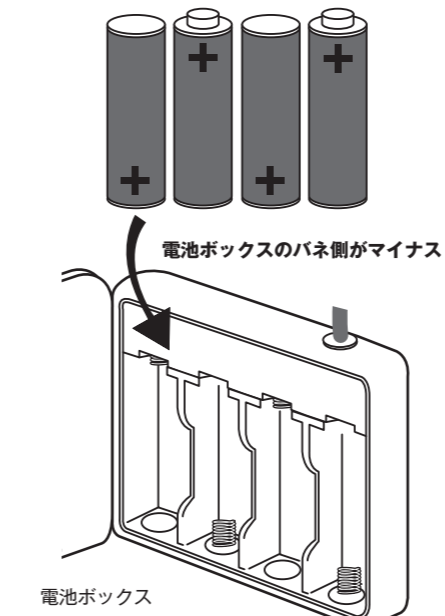
ホースストッパー

ホースストッパーは、取り付ける位置により、シャワーホースの長さ調整が可能です。

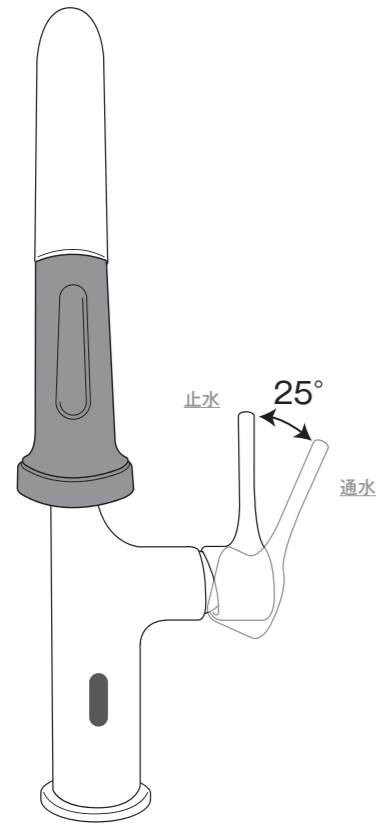


電池ボックス

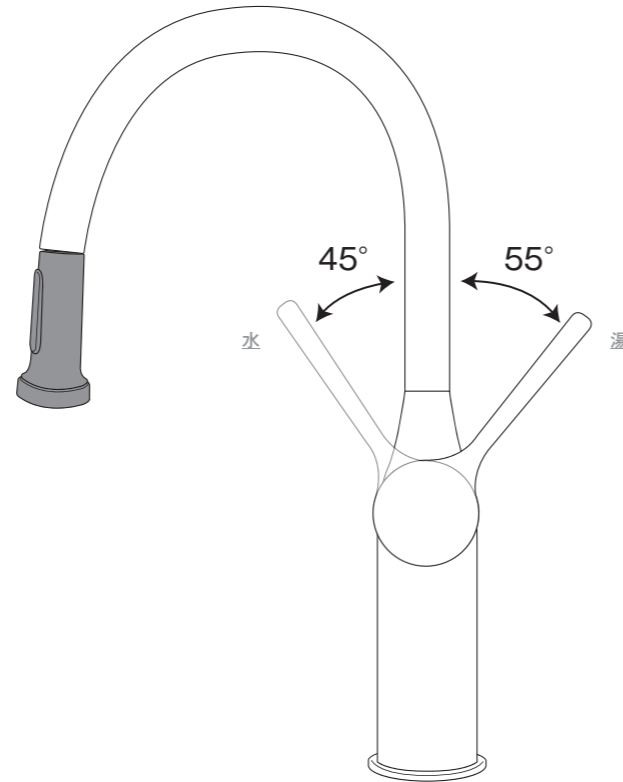
電池を入れる際はプラスとマイナスの向きを間違えないようにセットしてください。



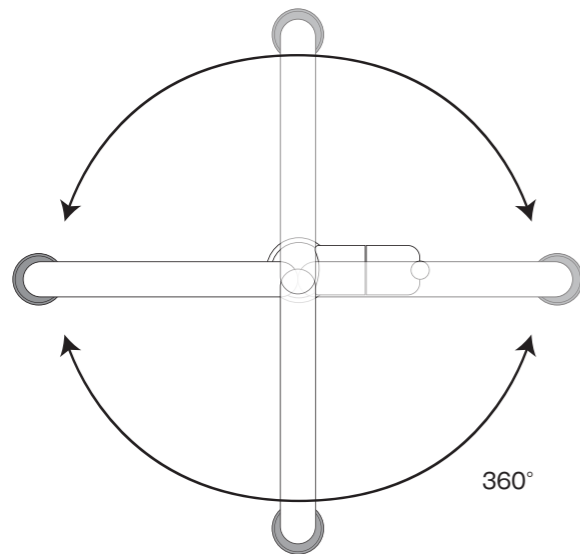
各部の可動領域



止水 / 通水 調節レバー
可動領域 (全開時)
【左右 25°】



水 / 湯 調節レバー
可動領域
【手前 45°】【奥行 55°】



水栓ヘッド 可動領域
【水平 360°】



注意

可動領域にご注意ください

可動領域を超えた無理な動きを行うと、水栓自体やレバーが破損する可能性がありますのでご注意ください。

製品仕様

電源	単 3 形アルカリ乾電池 × 4 本
センサー感知距離	感知距離：3cm 以内 (手で操作の場合) 白い物体での感知距離：6cm 以内 ※物体や色によって感知距離は異なります。
使用可能環境温度	1℃～ 55℃
放水可能温度	≤55℃
使用圧力	0.05Mpa ～ 0.75Mpa

施工条件 適切な使用条件

給水・給湯圧力	最低必要水圧 (流動時)：0.05Mpa 最高使用水圧 (静止時)：0.75Mpa
---------	---

- 給水圧力が 0.75Mpa を超える場合は、市販の減圧弁などで 0.2Mpa ～ 0.3Mpa 程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず 0.05Mpa 以上にしてください。
- 圧力が低い場合、シャワー水流の切り替えが出来ない場合がございます。

使用最高温度	55℃ 以下
--------	--------

- 給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、55℃以下による給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使用する際には、条件に適したガス瞬間式給湯器の号数 (能力) が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために給湯能力 12 号以上をおすすめします。

使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水 一般住宅用
--------	------------------------

アラミック ナノバブル キッチンシャワー水栓 施工について


安全上のご注意 P.9～P.10


施 工 手 順 P.11～P.16


施工について 安全上のご注意


- 本項目に記す注意事項は、状況により重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ずご一読の上お守りください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認すると共に、工事作業様は説明書に沿ってお客様にご使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規等に従った上で行ってください。


 **コントロールボックス(電磁弁)や電池ボックスのコードを乱暴に扱わないでください。**
故障や感電等の原因になります。


 **コントロールボックス(電磁弁)に水や洗剤、汚水をかけないでください。**
火災や感電、故障等の原因になります。


 **浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。**


 **修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。**
故障や感電等の原因になります。


 **電池は単三電池を使用してください。**
改造などで無理やりコンセント等を使用すると火災や感電等の原因になります。


 **電池ボックスや電池には濡れた手でさわらないでください。**
火災や感電等の原因になります。

 **電池ボックスに水や洗剤、汚水をかけないでください。**
火災や感電、故障等の原因になります。


 **電池は必ず正しい向きでセットしてください。**
火災や感電等の原因になります。


 **構成部品等の掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。**
湯水が吹き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 **湯水は逆に配管しないでください。**
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。


 **給湯温度は55℃より高温で使用しないでください。**
高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 **屋外や凍結が予想される地域には、取り付けしないでください。**
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


 **凍結による破損は、保証期間内でも有償修理となります。**
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

 **製品に強い力や衝撃を与えないでください。**
故障や水漏れ等の原因となります。

 **インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。**
センサー同士が感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。誤作動の原因になります。

 **直射日光の当たる場所には設置しないでください。**
誤作動の原因になります。

 **センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。**
誤作動の原因になります。

 **同梱の部品以外は使用しないでください。**
故障や水漏れ等の原因になります。

注意 — 既存の水栓を取り外す時は —

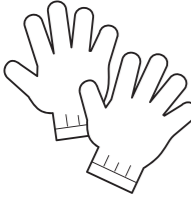
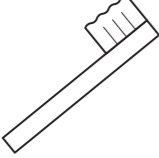
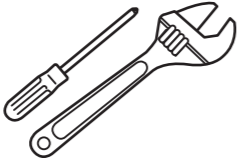
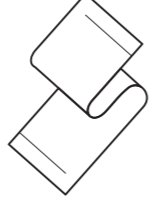

既存の水栓または、給水バルブを取り外す前には、必ず水道の供給を停止してください。
その際、水栓のレバーを引いて水圧を抜き、水道が完全に止まっているか確認してください。

施工手順

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

⚠ 注意 — 取り付けの際は怪我のないようご注意ください

取り付けの際は怪我に十分注意してください。下記道具の使用を推奨いたします。
 取り付けの際の事故や怪我に対しては、メーカー保証の対象外となりますのでご注意ください。

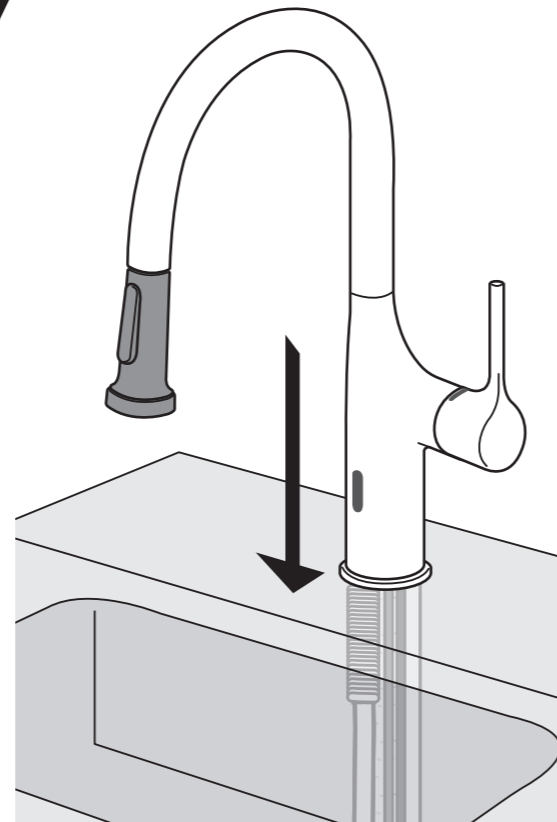
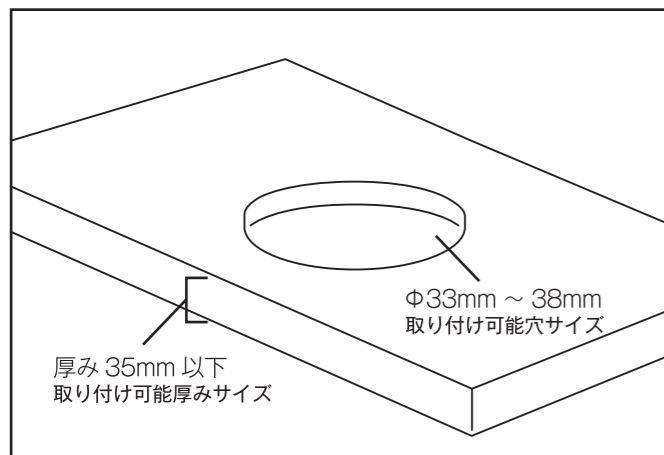
■手袋：  怪我防止のために着用してください。	■使い捨ての歯ブラシなど：  取り付け穴周辺のお掃除にご活用ください。	■モンキーレンチ、プラスドライバー：  パーツの締め込みにご使用ください。	■タオルなど：  怪我防止や、水栓保護のために使用してください。	■ぞうきんなど：  配管中の残り水や拭きこぼしの掃除に使用してください。
--	--	--	--	---

⚠ 注意 — 取り付け前に掃除を行ってください

配管内のシールテープくずやゴミはきれいに取り除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、その場合には保証の対象外での有償修理となります。

水栓本体を台下に挿入してください。

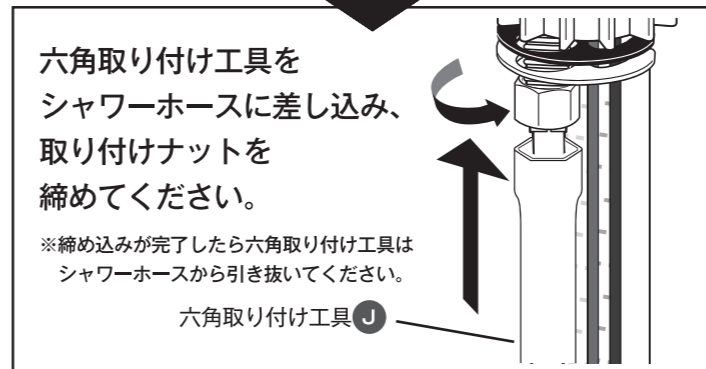
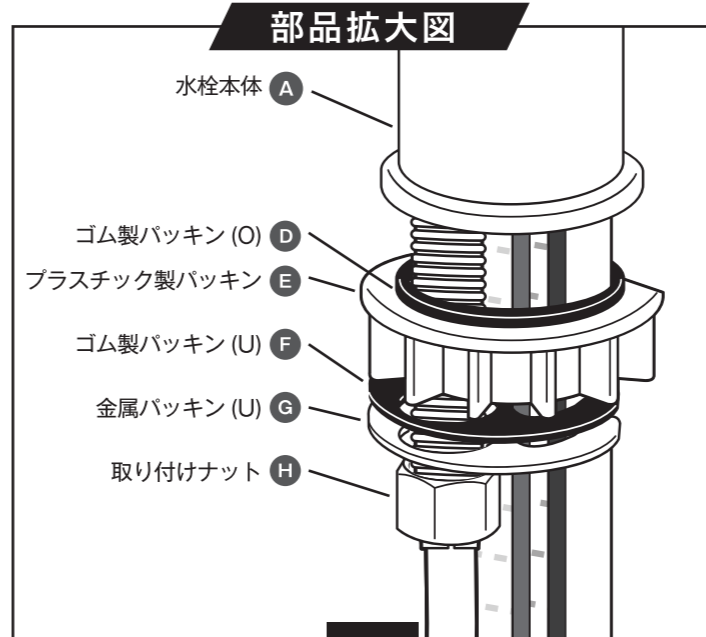
キッチンの穴のサイズを確認し、水栓ホースからまっすぐ台下に本体を挿入して下さい。
 (取り付け穴の幅Φ33mm～38mm、厚み35mm以内に取付けが可能です)







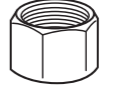
本体を押さえ部品で台に固定してください。

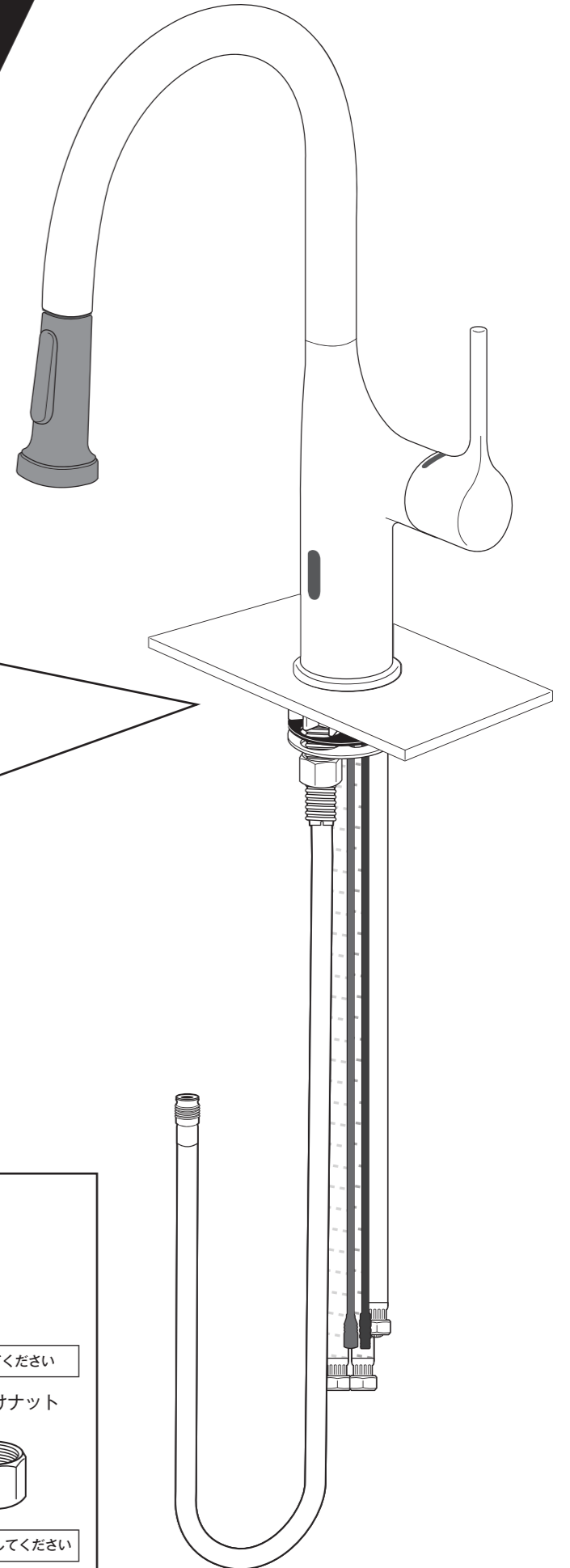
水栓本体へ押さえ部品を下図の順番通りに台下から取り付け、(J) 六角取り付け工具でしっかり固定してください。

※厚み15mm～35mmの取り付け台の場合は「ゴム製パッキン(O)」と「プラスチック製パッキン」は使用せず、それ以外の部品を順番通りに取り付けてください。厚み15mm未満の場合は下図の通りに取り付けてください。



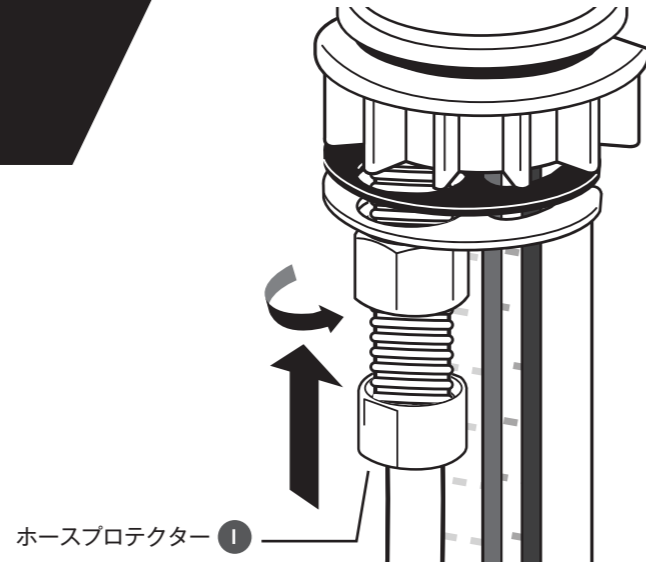
⚠ 押さえ部品の取り付け注意

D ゴム製パッキン(O)	E プラスチック製パッキン	
		
ゴム製パッキン(O)とプラスチック製パッキンはすべてのホースとケーブルを穴から通してください		
F ゴム製パッキン(U)	G 金属パッキン(U)	H 取り付けナット
		
ゴム製パッキン(U)、金属パッキン(U)、取り付けナットはいずれも穴をシャワーホースに通してください		



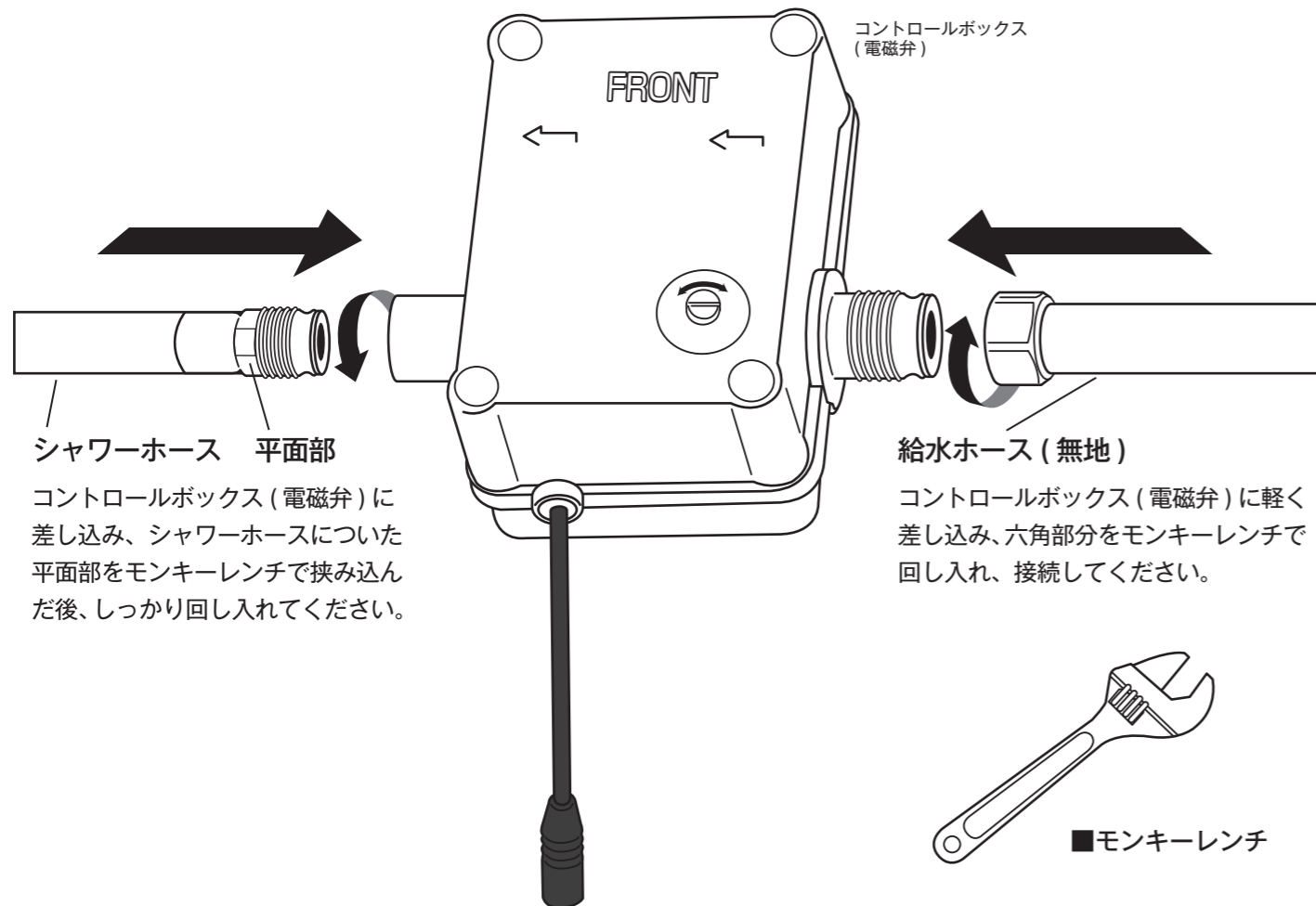
ホースプロテクターを取り付けてください。

ホースプロテクターをシャワーホースに通し、手で締め込んでください。
ホースに通す際は向きに注意してください。



コントロールボックス(電磁弁)にシャワーホースと給水ホース(無地)を接続してください。

コントロールボックス(電磁弁)にシャワーホース、給水ホース(無地)の順に接続してください。



コントロールボックス(電磁弁)に差し込み、シャワーホースについて平面部をモンキーレンチで挟み込んだ後、しっかり回し入れてください。

給水ホース(無地)コントロールボックス(電磁弁)に軽く差し込み、六角部分をモンキーレンチで回し入れ、接続してください。

■モンキーレンチ

ホースストッパーを取り付けてください。

ホースストッパーをシャワーホースに挟み込み、任意の箇所でドライバーで取り付けてください。

※ホースプロテクターからホースストッパーまでのシャワーホースの長さが、シャワーヘッドを引き出すことが可能な長さになりますので、引き出した後のシャワーヘッドがシンクにぶつからない長さの位置にホースストッパーをお取り付けください。

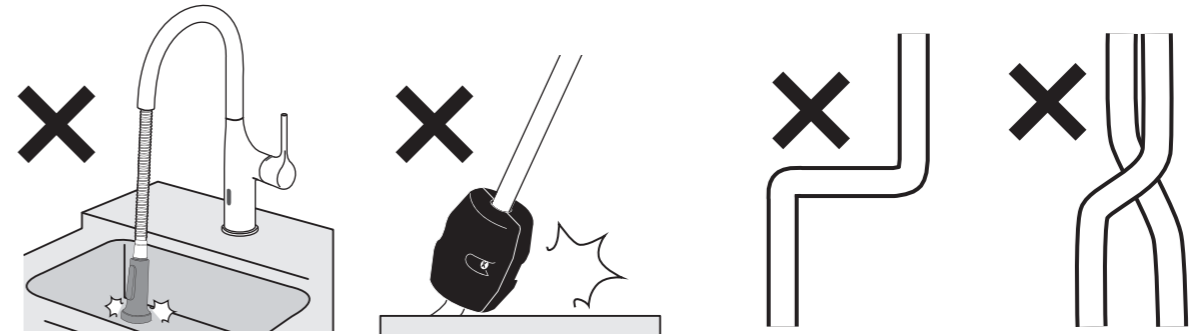


ホースストッパーとシャワーホースは重みによって可動する部品です。くれぐれも台下の床面にホースストッパーがぶつからない位置に長さの調整を行ってください。

※ホースストッパーやシャワーヘッドの衝突によるキッチン台等の損害については製品保証の対象外です。

！ 注意 台下の可動範囲にご注意ください

ホースストッパーとシャワーホースは重みによって可動する部品です。台下に物を収納する場合は、可動範囲の妨げにならないように十分ご注意ください。またホースを捻じ曲げたり折れた状態で設置しないよう、台下は整理して配置を行うようにご注意ください。

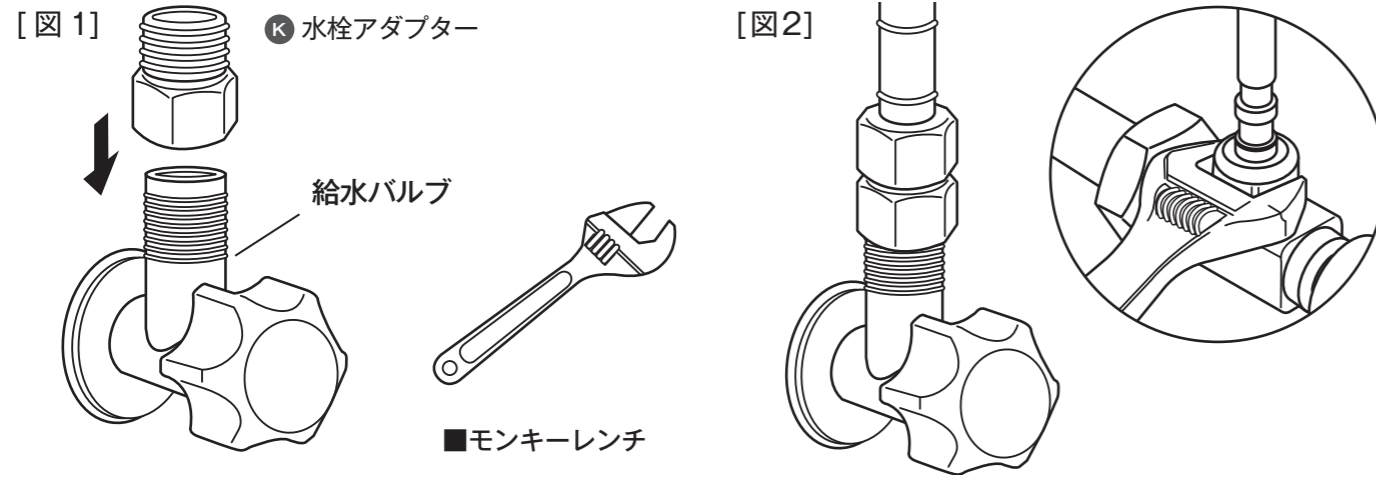


！ 注意 ホースストッパー取り付け後

ホースストッパーを取り付けた後は、必ずシャワーヘッドを引き出した後に重みによって自動で元の位置に戻る機能(P.24をご参照ください)の動作テストを行ってください。また、引き出すシャワーホースの長さが適切か確認を行ってください。

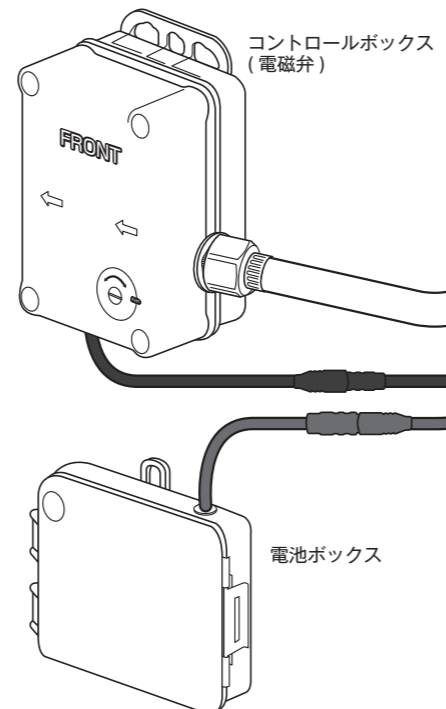
給水バルブに水栓アダプターを装着し、給湯ホース(赤)と給水ホース(青)を接続してください。

給水バルブに水栓アダプターをモンキーレンチで装着してください。[図1]
その後、給湯ホース(赤)を湯栓に、給水ホース(青)を水栓に絶対に間違えないよう、モンキーレンチを使用してしっかりと取り付けてください。[図2]



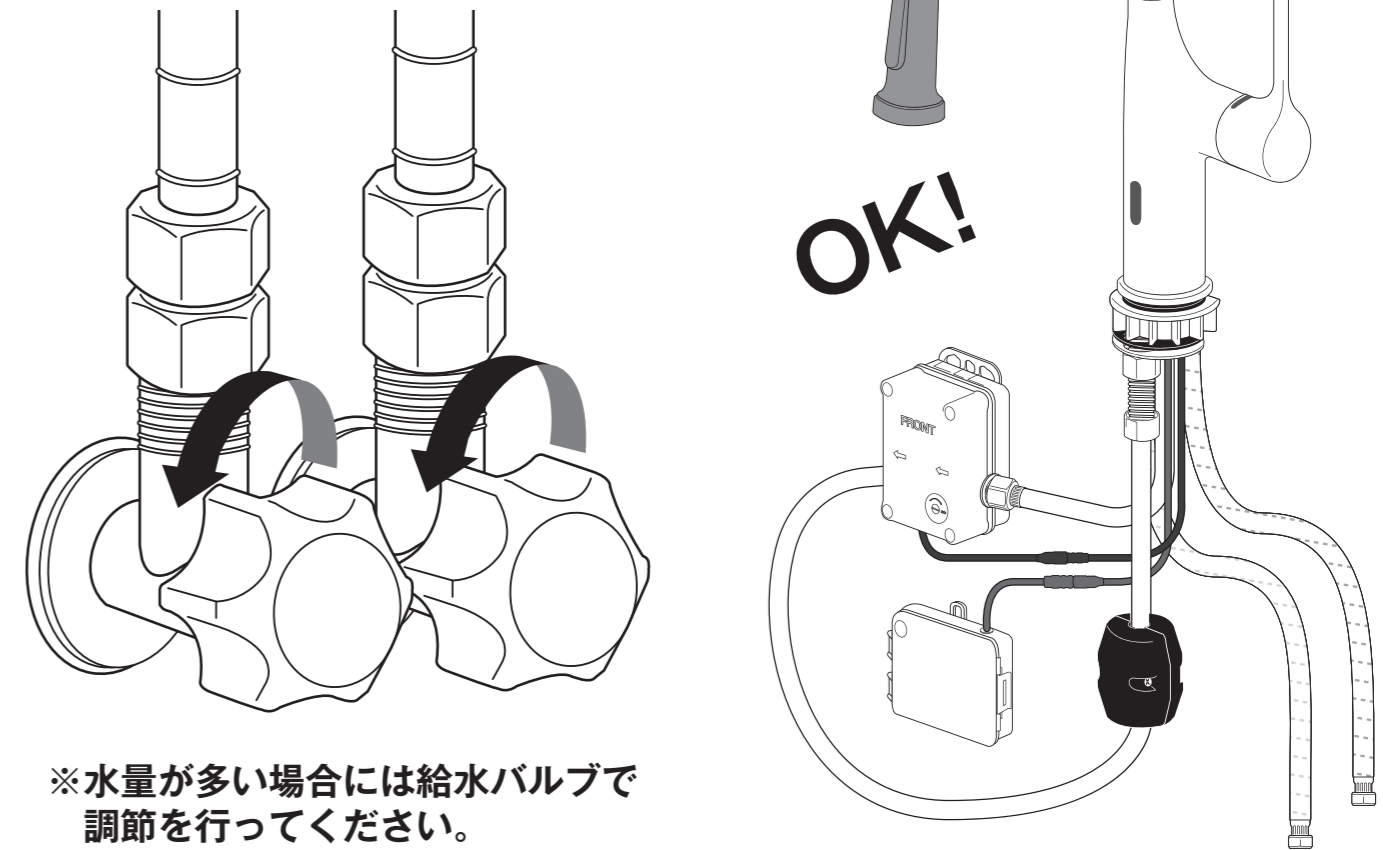
コントロールボックス(電磁弁)と電池をセットした電池ボックスをケーブルに接続してください。

- ・コントロールボックス(電磁弁)から出ている黒いケーブルを、水栓本体から出ている黒いケーブルに接続してください。
- ・電池をセットした電池ボックスから出ている赤いケーブルを、水栓本体から出ている赤いケーブルに接続してください。



機能が正常に動作するか通水テストを行ってください。

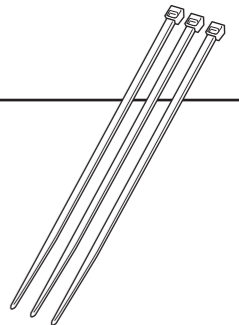
給水バルブを緩め、通水可能状態にして動作テストを行ってください。
水漏れや動作不良がなければ取り付けは完了です。



※水量が多い場合には給水バルブで調節を行ってください。

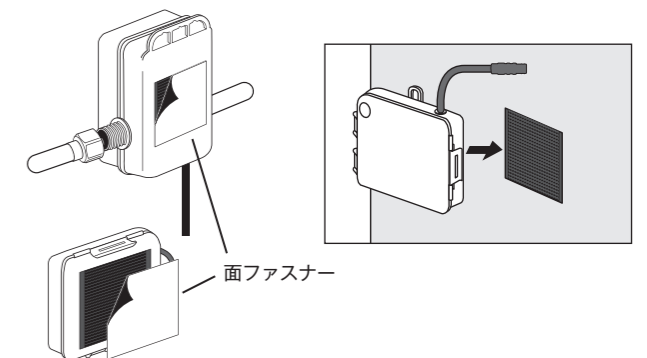
注意 ケーブルの配線等の配置について

コントロールボックス(電磁弁)や電池ボックスの配線ケーブルは、付属の結束バンドを使用して台下内の整理を行ってください。
※シャワーホースは稼働する部品のため結束バンドでの固定は行わないでください。
※その際、水栓や銅管・ホースを圧迫しないようにご注意ください。



注意 コントロールボックス(電磁弁)と電池ボックスの配置について

コントロールボックス(電磁弁)と電池ボックスの裏面には、台下の壁に貼り付け可能な面ファスナーを装着しています。台下の壁に貼り付け、コントロールボックス(電磁弁)と電池ボックスの固定にご活用ください。
※面ファスナーをゆっくりと剥がしてください。
※面ファスナー装着に際する貼り付け痕や破損に関する損害については製品保証の対象外です。



**アラミック ナノバブル
キッチンシャワー
水栓ご使用について**

安全上のご注意 P.19～P.22

使　　い　　方 P.23～P.24

ご使用について 安全上のご注意


- 本項目に記す注意事項は、状況により重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ずご一読の上お守りください。


 本製品は、日本国内のキッチン用です。それ以外の条件下では使用しないでください。

電池ボックスおよびコード類が破損するようなことをしないでください。


【してはいけない例】


- 傷つける ●加工する ●無理に曲げる ●ねじる ●引っ張る ●重いものを載せる ●挟み込む ●加熱する
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災等の原因になります。


 電池ボックス・電磁弁・コード類に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電等の原因になります。

 電池ボックスは同梱以外のものを使用しないでください。
火災や感電等の原因になります。

 指定された電池(アルカリ単三電池)以外は使用しないでください。
火災等の原因になります。


 電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。
火災や感電等の原因になります。


 電池ボックスを濡れた手で触らないでください。
感電等の原因になります。


 電池ボックスについたホコリは取り除いてください。
電池ボックスの端子にホコリがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
電池ボックスを抜き、乾いた布で拭いてください。


 浴室や屋外など、湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障等の原因になります。


 絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
火災等の原因になります。


 この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取り外しなどの改造はしないでください。
故障や感電等の原因になります。また商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水濡れにより家財等をぬらす財産損害発生のおそれがあります。


 給湯温度は55℃より高温で使用しないでください。
高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。


 高温でご使用中のシャワーホースや湯側配管、電磁弁周辺に、直接肌を触れないでください。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。

 お湯を使用する前に、必ず適温であるか確認してからご使用ください。
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

 レバーの温度位置を確かめて吐水してください。
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。


 収納物などを収納する際は、コード類に引っかからないように注意してください。
コードが断線し、感電・故障等の原因となります。

 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


 小さいお子様だけのご使用は、お避けください。
やけど・けが等をすることおそれがあります。


 お湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。


 高温のお湯をお使いの後は、必ずレバーを水側に戻してください。
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。


 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。


製品に強い力や衝撃を与えないでください。


 【してはいけない例】
●固いものをぶつける ●重いものを載せる ●過度な体重をかける・もたれる
故障や漏水等の原因になります。


 樹脂メッキ部分には、下記のことを行わないでください。
●鋭利なものを当てる ●衝撃を与える ●落とす
メッキの表面が割れ、けがをするおそれがあります。

 メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。
メッキ面がはがれた部分でけがをするおそれがあります。


 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
変形、破損および吐水口本体の固定がゆるむおそれがあります。


 凍結が予想される場所では使用しないでください。
部品が破損し、水漏れして家財をぬらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
凍結による破損は、保証期間内でも有償修理となります。

 長期間使用しない時は、止水栓または配管部の元栓を閉めてください。
誤作動や故障などによる予想しない事故の原因になります。

 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 朝一番の使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。
しばらく使われないと、ホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまう、におうことがあります。

 感知センサーの上を覆わないでください。
誤作動の原因となります。

 感知センサーの前に障害物を置かないでください。
誤作動の原因となります。シンクの中に金属製のもの(コップ、スプーン、皿、ボウルなど)を高く積み上げた場合には、感知距離範囲外であっても誤作動を引き起こすおそれがありますので、ご注意ください。



直射日光の当たる場所で使用しないでください。
誤作動の原因になります。



使用する時は、吐水口をふさがないでください。
シンク下への漏水の原因となります。



日頃から、ときどき吐水口を回してください。
本体の首を長期間回さずに使用すると水垢などが付着し、無理に回そうとすると配管に負荷が掛かり水漏れの原因になります。



日頃から、ときどきシャワーヘッド水流の切り替えを行ってください。
切り替えを長期間行わずにいると水垢などが付着し、水漏れや配管負荷が掛かり通水不良や水漏れの原因になります。



本体の首を回しすぎないでください。
シンクの外への水漏れで家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
シンク外で動作しないよう、安全のため、使用後はレバー操作による止水操作を行ってください。



センサーに直接水をかけないでください。
誤作動や故障等の原因になります。水が侵入して漏水し、家財などを濡らす財産障害発生のおそれがあります。



シャワーホース引き出し口やレバー周辺に直接水をかけないでください。
水が侵入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



レバーは、ゆっくり動かしてください。
レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結予防について

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

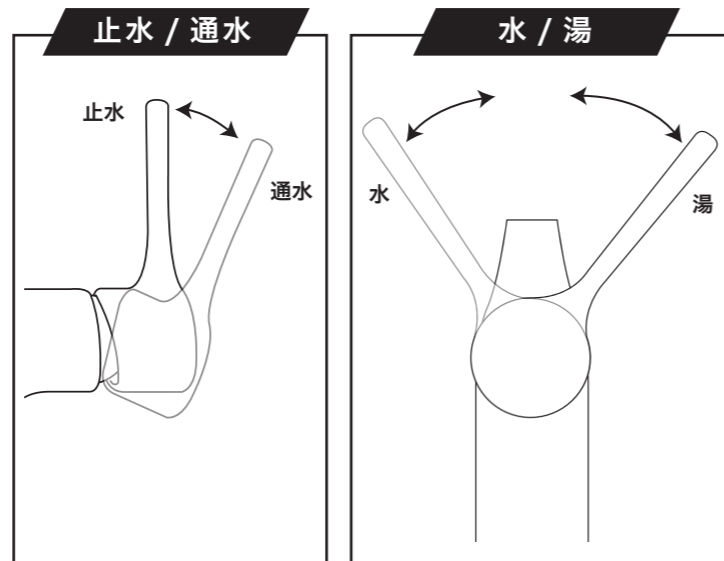


- 水栓より少量の水を出してください。
目安として1分間に牛乳ビン1本程度
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

ご使用について 使い方

通水の仕方

水栓本体横のレバーを左右に動かすことによって止水 / 通水と水量の調節、前後に動かすことで水 / 湯の操作が可能です。



注意 給湯器の設定温度

- 本製品の使用可能環境温度は1℃～55℃です。誤作動などによるやけど防止のためにも給湯器による55℃までの温度設定をご確認ください。
- レバーを操作しても高温の水が出ない時は、給湯温度をご確認ください。
- 水温の高い夏場は瞬間式給湯器が着火しない場合があります。その場合は給湯器の温度設定を下げてください。

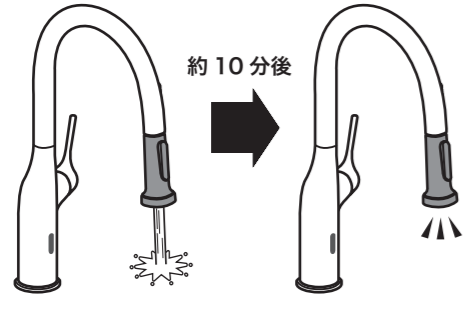
※止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちることがありますが、シャワーヘッド内の残留水ですので異常ではありません。

センサー操作

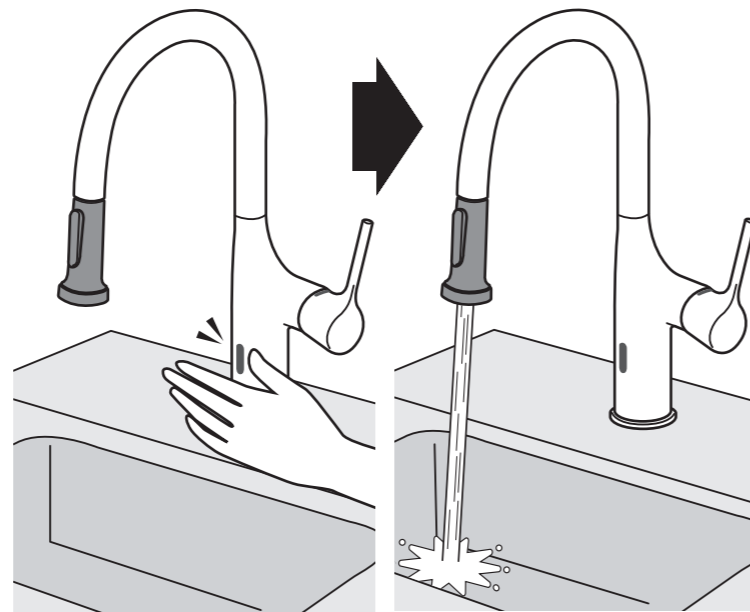
水栓本体についているセンサーに手をかざすことで、通水と止水の操作が可能です。
※レバーは通水状態になっている必要があります

安心センサー機能

センサーで通水した場合、水は約10分間経過すると自動で止まります。(出しっぱなしを防ぐため)

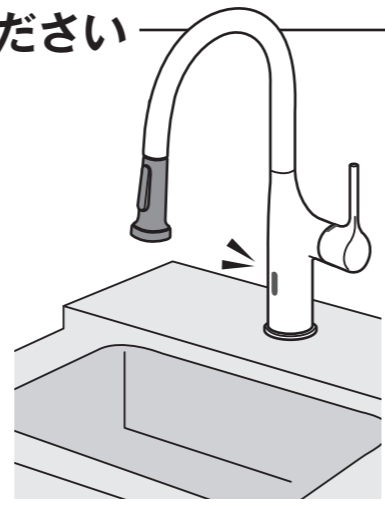


※高温の湯をお使いの後は、必ずレバーを水側に戻してください。※レバーの温度位置を確かめて吐水してください。※ご使用後はレバーによる操作で止水状態にしてください。



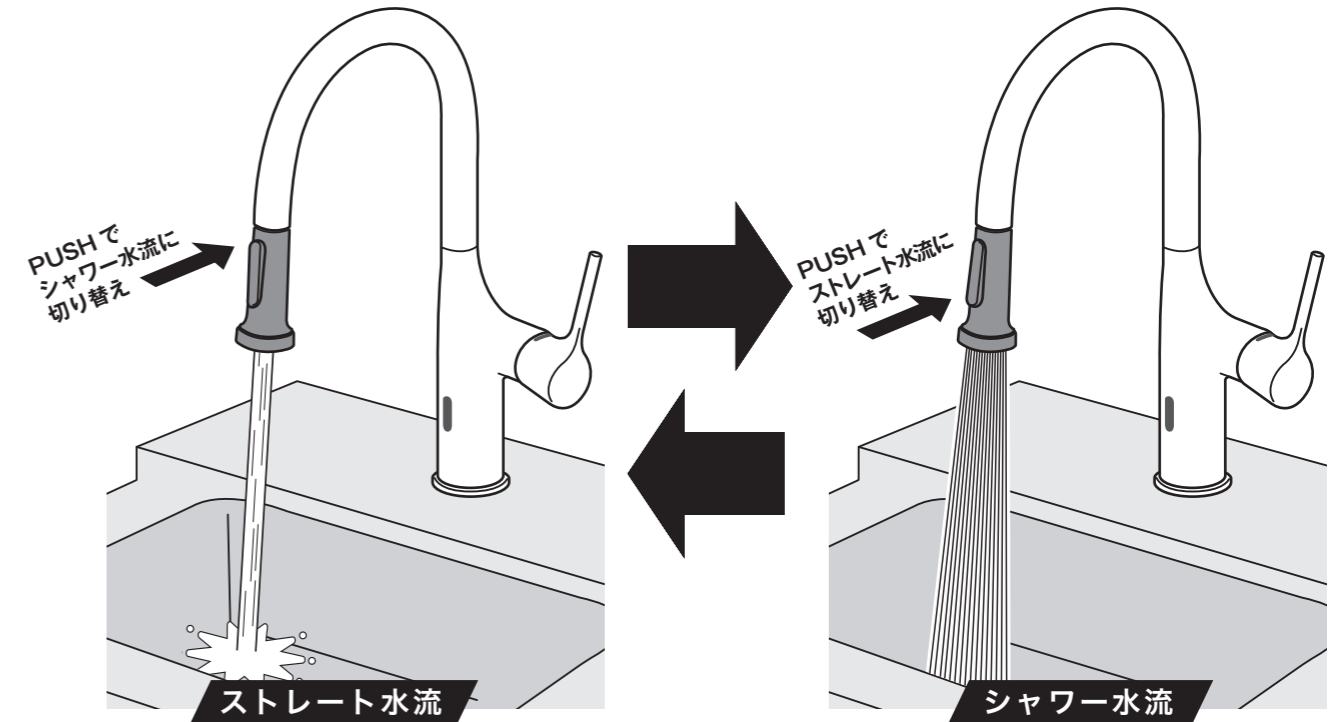
注意 センサー前の障害物にご注意ください

- センサーの感知距離は白い感知物で約6cmです。
- センサーの前に障害物がある場合、センサーが誤作動し通水状態になる可能性がございます。
- センサー感知の直線上に高反射物がある場合、誤作動防止の為に高反射物より25cm以上離してご使用ください。
- ※物体や色によって感知距離は異なります。



シャワー水流の切り替え

シャワーヘッドについているスイッチを操作することによって、ストレート水流とシャワー水流の切り替えが可能です。水の出しはじめは、必ずストレート水流が吐水されますが、スイッチを押すことでシャワー水流へと切り替わります。
※水を止めるとストレート水流に切り替わります。



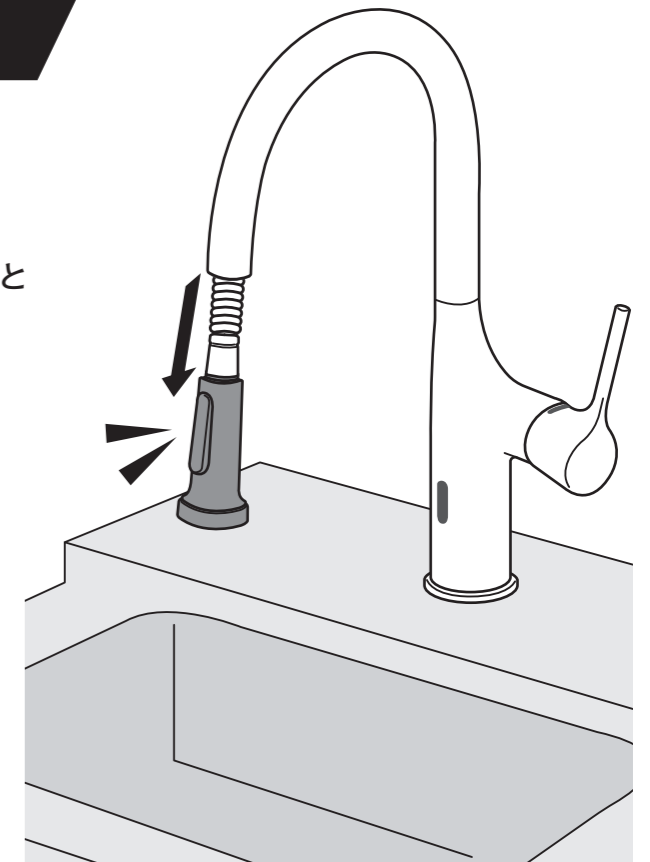
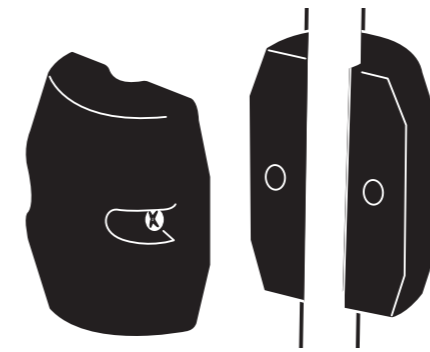
※水を止めた後は、ストレート水流が吐水されます

シャワーヘッドの操作

シャワーヘッドは引き出すことが可能です。お好みの位置に引き出してご活用ください。
※手を離すとホースストッパーの重みにより元の位置に戻ろうとしますが、急に手を離さず、手でゆっくりと元の位置に戻してください。破損の原因となります。

ホースストッパー

ホースストッパーは、取り付け位置により、シャワーホースの長さ調整が可能です。



アラミック ナノバブル キッチンシャワー 水栓製品トラブルと保証

故障かなと思ったら	P.27～P.28
ご使用上の注意	P.29～P.30
日常のお手入れ	P.31
定期的な点検	P.32
保証とアフターサービス	P.33
保証書	P.34

故障かなと思ったら

●動作に異常が感じられた場合、下記を順番にご確認ください。
解決しない場合、お客様相談室へご連絡ください。

水が出てこない

- 1 給水バルブは開いていますか？**
給水バルブを開かないと水 / お湯は出てきません。給水バルブを開いてご使用ください。(P.16 をご参照ください)
- 2 コントロールボックス (電磁弁) の電源ケーブルをご確認ください**
コントロールボックス (電磁弁) のケーブルが外れていると通水が出来ません。
ケーブルはしっかり差し込んでください。(P.15 をご参照ください)
- 3 電池の残量が少ない**
電池の残量が少ないとセンサーが働きません。(P.29 をご参照ください)
電池の交換をお試しくささい。また、電池のセット向きがあっているかご確認ください。
- 4 センサーが障害物を感知している**
センサー付近に障害物がないよう、空間を確保してください。(P.23 をご参照ください)
- 5 センサーが作動していない可能性がある**
センサーを綺麗にお掃除してお試しくささい。(P.31 をご参照ください)
- 6 水かお湯、どちらも出ないかご確認ください**
水とお湯をミキシングする機構 (カートリッジ) が破損している可能性がございます。

上記で解決しない場合は、お客様相談室へご連絡ください。

水流が少ない

- 1 ホースやストレーナーが詰まっている可能性がございます**
水栓アダプターを外しホースを洗浄してください。
また、水栓アダプターを外し、内部のストレーナーを清掃してください。(P.31 をご参照ください)
- 2 給水バルブが完全に開ききっていない**
給水バルブを全開にしてください。(P.16 をご参照ください)
- 3 散水板が詰まっている**
シャワーヘッドの散水板をお手入れし、ゴミを取り除いてください。(P.31 をご参照ください)

上記で解決しない場合は、お客様相談室へご連絡ください。

水漏れが発生している

- 1 水漏れが発生している箇所を特定してください**
給水バルブを閉めて水を止め、特定した箇所を取り付け直してください。

上記で解決しない場合は、お客様相談室へご連絡ください。

適切な温度にならない

- 1 冷水か温水のどちらかの給水バルブが開いていない**
給水バルブの冷水と温水の両方を開いてください。(P.16 をご参照ください)
- 2 水かお湯、どちらも出ないかご確認ください**
水とお湯をミキシングする機構 (カートリッジ) が破損している可能性がございます。

上記で解決しない場合は、お客様相談室へご連絡ください。

センサー操作で水栓が完全に閉まらず、水が止まらない

- 1 センサーに異物や水滴が付着している**
センサーに付着している異物や水滴がなきよう、お手入れをお願いいたします。(P.31 をご参照ください)
- 2 コントロールボックス (電磁弁) の切り替え機能が「Hands」になっている**
切り替え機能を「Hands」にしたままにしていると、レバーによる止水操作が必須となります。
切り替え機能をご確認ください。(P.29 をご参照ください)
- 3 コントロールボックス (電磁弁) が破損している**
コントロールボックス (電磁弁) を新しいものに交換する必要があります。

上記で解決しない場合は、お客様相談室へご連絡ください。

水流の切り替えができない

- 1 吐水の水流量が弱い**
水圧が正常か、またはレバーが全開になっているか確認してください。
- 2 シャワーヘッドが破損・変形している**
シャワーヘッドを交換する必要があります。

上記で解決しない場合は、お客様相談室へご連絡ください。

シャワーヘッドの引き出しがスムーズに動かない

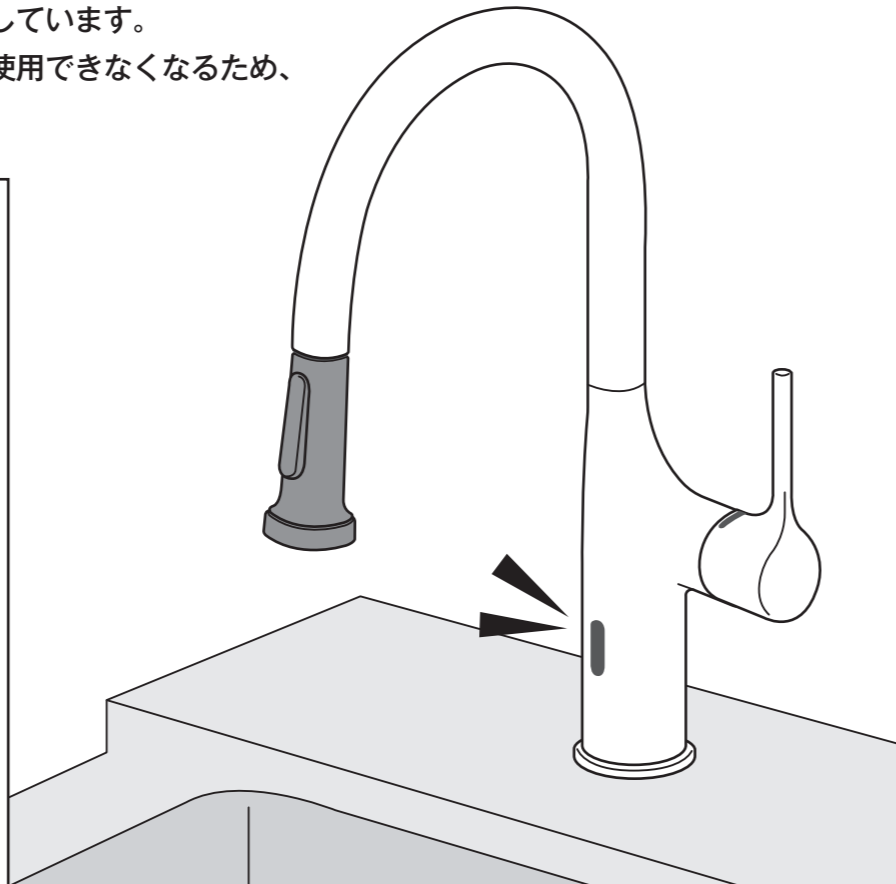
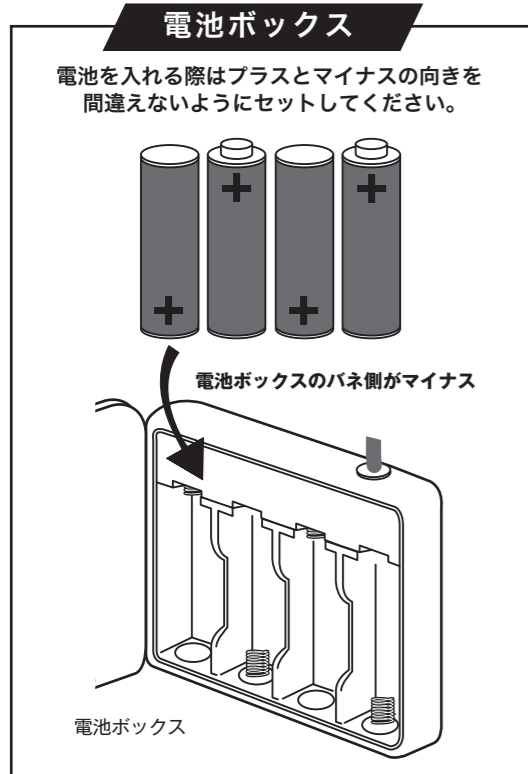
- 1 ホースストッパーの位置が適切ではない**
ホースストッパーを調整し、取り付け直してください。(P.14 をご参照ください)
- 2 ホースの下部がうねっている / 障害物がある**
シャワーホースは可動部分です。台下内を整理し、可動する空間を空けてください。(P.14 をご参照ください)

上記で解決しない場合は、お客様相談室へご連絡ください。

センサーが点滅 / 電池が切れた場合

使用中、感知センサー内のLEDランプが20秒以上点滅している場合、電池の残量が少ないことを表しています。

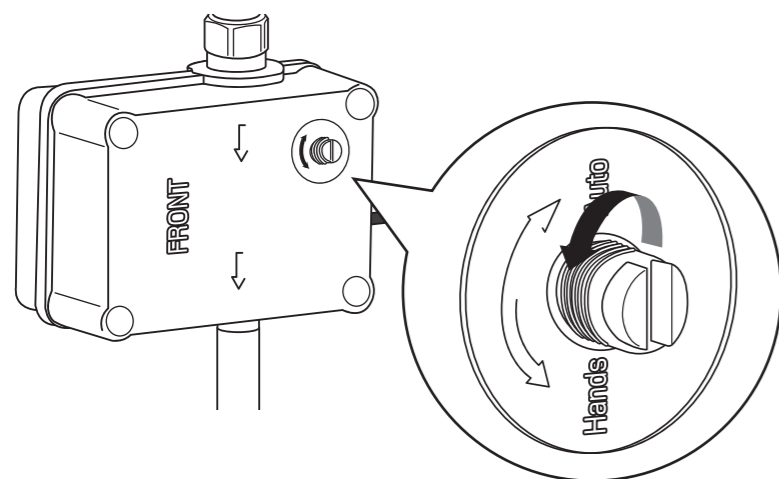
電池が完全に切れるとセンサー機能は使用できなくなるため、電池の交換をお願いいたします。



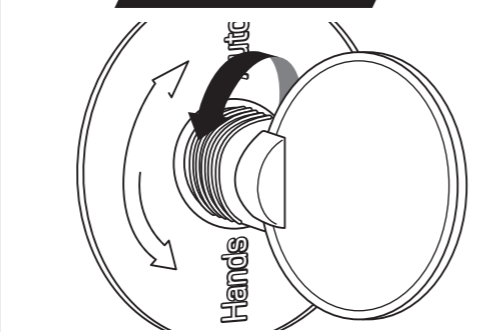
※電池が切れた際は電磁弁が自動的に閉まるため、水は止まります。

コントロールボックス (電磁弁)

電池がなくなった状態で操作が必要な場合、コントロールボックス (電磁弁) の切り替え機能を使用することでレバー操作による手動での通水 / 止水が可能になります。



切り替え方法



コインなどをつまみに差し込み、「Hands」側へネジを止まるまで回し、切り替えを行ってください。

※電池交換後は必ずつまみを元の「Auto」側に戻してください。

台下の可動範囲にご注意ください

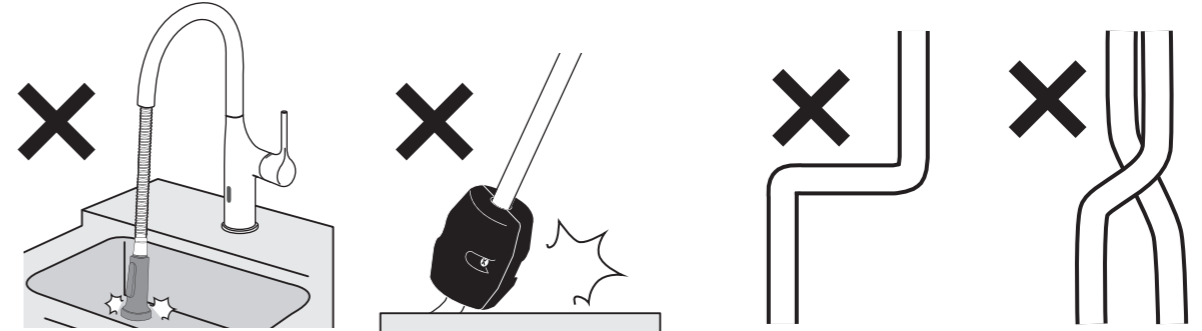
下記注意事項をご確認いただき、水栓の動作の妨げにならないようご注意ください。

配線や配管の際は可動範囲の妨げにならないよう配置し、

台下への物の収納の際は、可動領域の妨げにならないよう整然と配置を行ってください。

！ 注意 — 台下の可動範囲にご注意ください

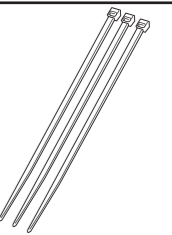
ホースストッパーとシャワーホースは重みによって可動する部品です。台下に物を収納する場合は、可動範囲の妨げにならないよう十分ご注意ください。また、ホースを捻じ曲げたり折れた状態で設置しないよう台下は整理して配置を行ってください。



！ 注意 — ケーブルの配線等の配置について

コントロールボックス (電磁弁) や電池ボックス、ケーブルなどの配線は、付属の結束バンドを使用し、台下内にて整理を行ってください。

※シャワーホースは稼働する部品のため結束バンドで固定しないでください。その際、水栓や銅管・ホースを圧迫しないようご注意ください。

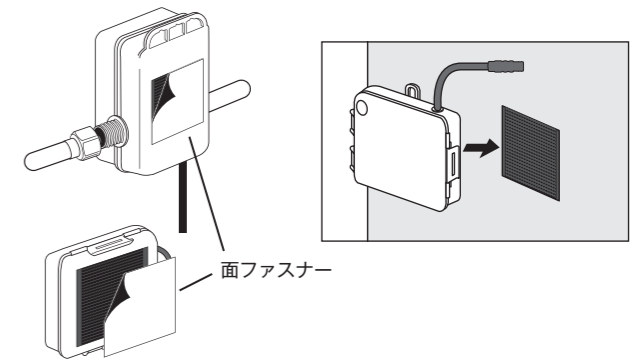


！ 注意 — コントロールボックス (電磁弁) と電池ボックスの配置について

コントロールボックス (電磁弁) と電池ボックスの裏面には、台下の壁に貼り付け可能な面ファスナーを装着しています。面ファスナーをゆっくりと剥がし、台下の壁に貼り付け、再度貼り付けることでコントロールボックス (電磁弁) と電池ボックスの固定が可能ですのでご活用ください。

※面ファスナー装着する前に、シャワーホースとホースストッパーの動作をよくご確認ください。

※面ファスナー装着に際する貼り付け痕や破損に関する損害については製品保証の対象外です。



ご使用について 日常のお手入れ

水栓をいつまでも美しく快適に使用するために、日頃からお掃除・お手入れを行ってください。

- 製品についた汚れを放置しておく、汚れが落ちにくくなる場合があります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。＊中性洗剤以外を使用すると変色や破損のおそれがあります。

⚠ 注意 — お手入れ時にご注意ください

お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど ※製品の傷や変色変質の原因となります。

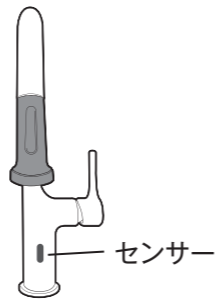
洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

製品の割れや変色変質の原因となります。

強くこすると、色落ちしたり、表面素材がはがれるおそれがありますのでご注意ください。

センサーのお手入れ

センサーは非常に繊細です。汚れや傷が付かないように定期的なお掃除をお願いいたします。＊センサーをお掃除いただく際は、誤作動防止のためレバーによる止水状態であることをご確認ください。

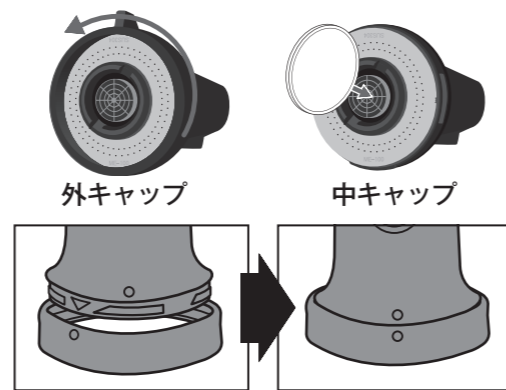


散水板のお手入れ

散水板はシャワーヘッドから取り外してお手入れが可能です。散水乱れが起きた際などは取り外してお手入れをすることで元の水流に戻ります。

- 外キャップと中キャップを外し、散水板とパッキンを取り外してください。中キャップはくぼみにコインなどはめて、回して外すことができます。
- 散水板をブラシなどで優しく掃除してください。
- 外キャップをはめる際は本体の▽刻印とキャップの○刻印をあわせ、その後○刻印同士が縦に並ぶように回してください。

＊散水板は鋭利な金属でできています。怪我をしないよう十分お気をつけください。



外キャップの取り付け方

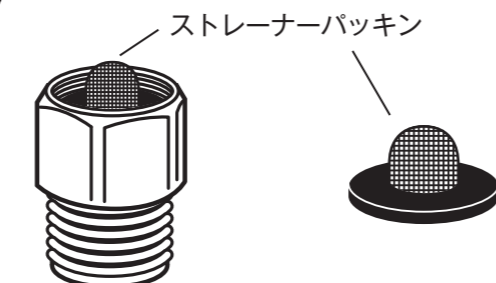
水栓アダプターのお手入れ

水栓アダプターには網目状の格子の付いたパッキン、「ストレーナーパッキン」が付いています。

- 水栓アダプターを取り出し、ストレーナーパッキンを軽く洗い流してください。(年2回を目安)

＊紛失にはくれぐれもご注意ください。

＊上下逆さに付けしないでください。



水栓アダプター

ご使用について 定期的な点検

可動部の点検

動作不良防止のために、定期的な可動部分の操作や点検をお願いいたします。

- 日頃から可動可能な箇所を動かしてください。(月1回を目安)
- ときどき、シャワーホースを引き出してください。(月1回を目安)
- ときどき、シャワーヘッドの水流切替を行ってください。(週1回を目安)

配管周りや器具の点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去など、定期的な点検をお願いいたします。

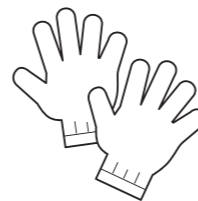
- 配管周りに水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)
- 器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 定期的に電池ボックスについてホコリを取り除いてください。(月1回を目安)
電池ボックスの端子や電池自体にホコリなどが付着・たまると、湿気で絶縁不良となり、火災の原因となります。電池を抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。

漏水を確認した場合は、水栓バルブまたは配管の元栓を閉めてください。

⚠ 注意 — お手入れや点検の際は怪我のないようご注意ください

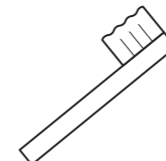
お手入れや点検の際は怪我に十分注意してください。下記道具の使用を推奨いたします。お手入れや点検の際の事故や怪我に対しては、保証の対象外となりますのでご注意ください。

■手袋:



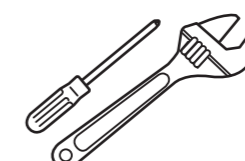
怪我防止のために着用してください。

■使い捨ての歯ブラシなど:



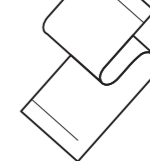
可動部品などのお掃除にご活用ください。

■モンキーレンチ、プラスドライバー:



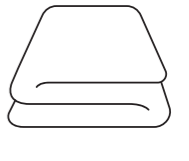
パーツの締め込みにご使用ください

■タオルなど:



怪我防止や、水栓保護のために使用してください。

■ぞうきんなど:



配管中の残留水や拭きこぼしの掃除に使用してください。

製品保証とアフターサービスについて

保証について

- 本製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買い上げ(お取り付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になる場合がありますので、保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の供給期間

本製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取り替える可能性の高い物)の供給期間は、製造中止後10年です。

アフターサービスのご相談について

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店、または当社
[連絡していただきたい内容]
 - ・住所、氏名、電話番号
 - ・品番、品名
 - ・お買い上げ(お取り付け)年月日
 - ・ご相談内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
- まずは、お求めの販売店(工事店)にご相談ください。
ご不明な場合は、当社お客様相談室へお問い合わせください。

アラミック
お客様相談室

0120-64-1574 にご相談ください。
受付時間: 10:00~16:00(土・日・祝日を除く)
▶ FAX・メールでも受け付けております
FAX 072-728-5145 E-mail: arromic@arromic.co.jp
株式会社アラミック 〒562-8555 大阪府箕面市船場東1-12-5

Arromic

製品保証書

安心の保証制度(本体のみ)

本書は、本書記載の内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、修理に際して本書をご提示ください。
お買い上げ(お取り付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入漏れがあると無効となります。
必ずご確認ください。記入のない場合はお買い上げ(お取り付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

保証規定

*ご依頼の前に再度、取り扱い説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 取り扱い説明書に従った使用状態、維持管理状態で保証期間内に故障した場合には無料修理させていただきます。ご依頼になる場合は販売店(工事店)にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有償修理とさせていただきます。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷
 - (2) 火災、地震、水害、落雷その他天災地変等による故障または損傷
 - (3) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (4) お買い上げ(お取り付け)後の取り付け箇所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (5) 消耗品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (6) 施工説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (7) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び鏡面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (8) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (9) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (10) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水垢の固着に起因する不具合
 - (11) 寒冷地での使用による凍結による故障及び損傷
 - (12) 本書の提示がない場合
 - (13) 本書にお買い上げ(お取り付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
 - (14) 正規販売店以外での購入の場合
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

*この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買い上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
*保証期間経過後の修理については、当社お客様相談室にお問い合わせください。

保証期間		2年間(お買い上げ日/お取り付け日より)		販売店 工事店	
お客様情報	お買い上げ日(お取り付け日)	年	月	日	店名
	お名前	様			ご住所
	ご住所 〒				お電話
	お電話	()		